

おおはら

大原里づくりトライアングル（京都府京都市）

- 三千院や寂光院などの歴史・文化資源や豊かな自然環境と調和した田園風景を後世に残していくため、土地改良区、農業団体及びNPOのトライアングル体制を核として、地域が一体となって、希少種オオムラサキの保護活動、生き物調査等の様々な活動に取り組んでいる。
- また、近年、農業者の高齢化や生産基盤整備の遅れなどの影響により、農地が荒廃し、遊休農地が増加しつつあり、それによって長年守り続けられてきた農村景観が悪化してきている。
- そこで、農家を主体とする地元住民が危機感を強め、農村環境の保全のため、長年放置されてきた遊休農地を再生し、観光梅園づくりに取り組んでいる。

【地区概要】

- ・取組面積 46.5ha
（田 46.1ha、畑 0.4ha）
- ・資源量
開水路 12.7km、農道 1.8km
- ・主な構成員
営農組織、土地改良区、JA、NPO法人
- ・交付金 約2百万円（H26）
〔 農地維持支払
資源向上支払（共同） 〕

地域一体となって
環境保全

土地改良区、農業団体、NPOのトライアングル体制を核として様々な活動に取り組む。



専門家の指導のもと高野川で調査に取り組み、約36種の水生生物を確認



希少種オオムラサキの保護活動

遊休農地を再生



長年放置されてきた遊休農地



地域ぐるみで遊休農地を再生。小型の重機も使用。10日間で延べ81名が参加

遊休農地を観光梅園に



共同活動で梅を植栽。活動には4日間で延べ33名が参加



約30アールに梅を120本植栽